

(別紙5)

整理番号 2019P-147  
補助事業名 2019年度 児童、高齢者、障害者が相補的に関わることのできる  
地域共生型社会づくりを促進する活動 補助事業  
補助事業者名 公益社団法人日本フィランソロピー協会

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

災害が発生した際にどう動くかということ意識して生活し、その中で被害を軽減する活動を行なう必要性が高まっている中、小中高生が核となり、地域防災の意識を高め、さまざまな活動に取り組むことにより、小中高生と地域住民の顔の見える関係づくりを促進する。

### (2) 実施内容 <https://www.philanthropy.or.jp/cms/20191122/827/>



(1) 被災地ツアー：石巻市立大川小学校の語り部から、当時の状況やこれからについて聞く



(2) ツアーの感想、学んだこと、気づきを共有



(3) 課題解決ワークショップで、災害時、自分にできること、地域でできることを話し合う



(4) ユニバーサル運動会で“障害”について考える

(別紙5)



(5) 被災地ツアー：西日本豪雨の被災地で清掃のボランティア活動



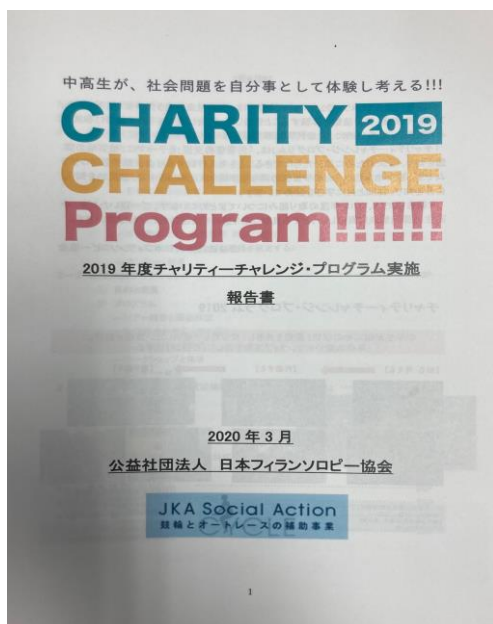
(6) 各地域での活動報告

## 2 予想される事業実施効果

- ・参加した生徒、教員の防災意識、減災意識の向上
- ・災害時を想定したタイムライン等の見直し、確認
- ・学んだことを学校内で紹介する（広報活動）
- ・災害発生時の募金活動実施
- ・地域防災活動への参加

## 3 補助事業に係わる成果物

### (1) 補助事業により作成したもの…報告書



目次	
1. 2019年度の活動サマリー	4P
2. 各プログラムの内容	
2-1. 東日本大震災被災地視察「取り組む課題を発見する」	5P
① 目的と概要	
② プログラム	
—石巻日日新聞と情報交流館で被災の現状を学ぶ	
—石巻の高岸線見学	
—大川小学校跡地見学	
—ワークショップ	
—宮城県女川町 須田善明 町長の講話	
—ディスカッション(取り組む課題を確定する)	
—アンケート結果	
2-2. 課題解決ワークショップ	10P
① 目的と概要	
② プログラム	
—ツアー報告と課題確認	
—合同募金の実施と振り返り	
—ユニバーサル運動会	
—ワークショップと発表	
—アンケート結果	
2-3. 活動報告/西日本豪雨被災地視察「伝承について考える」	20P
① 目的と概要	
② プログラム	
—小豆浦地区視察	
—ワークショップと発表	
—広島平和記念公園と資料館視察	
—アンケート結果	
2-4. 各地域での取り組み	24P
3. 協賛企業ボランティアからのコメント	25P
4. 参加校一覧	26P
5. 協賛企業、協力企業、後援、協力団体 一覧	26P

(別紙5)

(2)(1) 以外で当事業において作成したもの  
なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 公益財団法人日本フィランソロピー協会  
(コウエキシャダンホウジンニホンフィランソロピーキョウカイ)  
住 所 : 〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1新大手町ビル244区  
代 表 者 : 理事長 高橋 陽子 (タカハシ ヨウコ)  
担 当 部 署 : 事業部 (ジギョウブ)  
担 当 者 名 : 宮本 栄 (ミヤモト サカエ)  
電 話 番 号 : 03-5205-7580  
F A X : 03-5205-7585  
E - m a i l : [miyamoto@philanthropy.or.jp](mailto:miyamoto@philanthropy.or.jp)  
U R L : <https://www.philanthropy.or.jp/>